

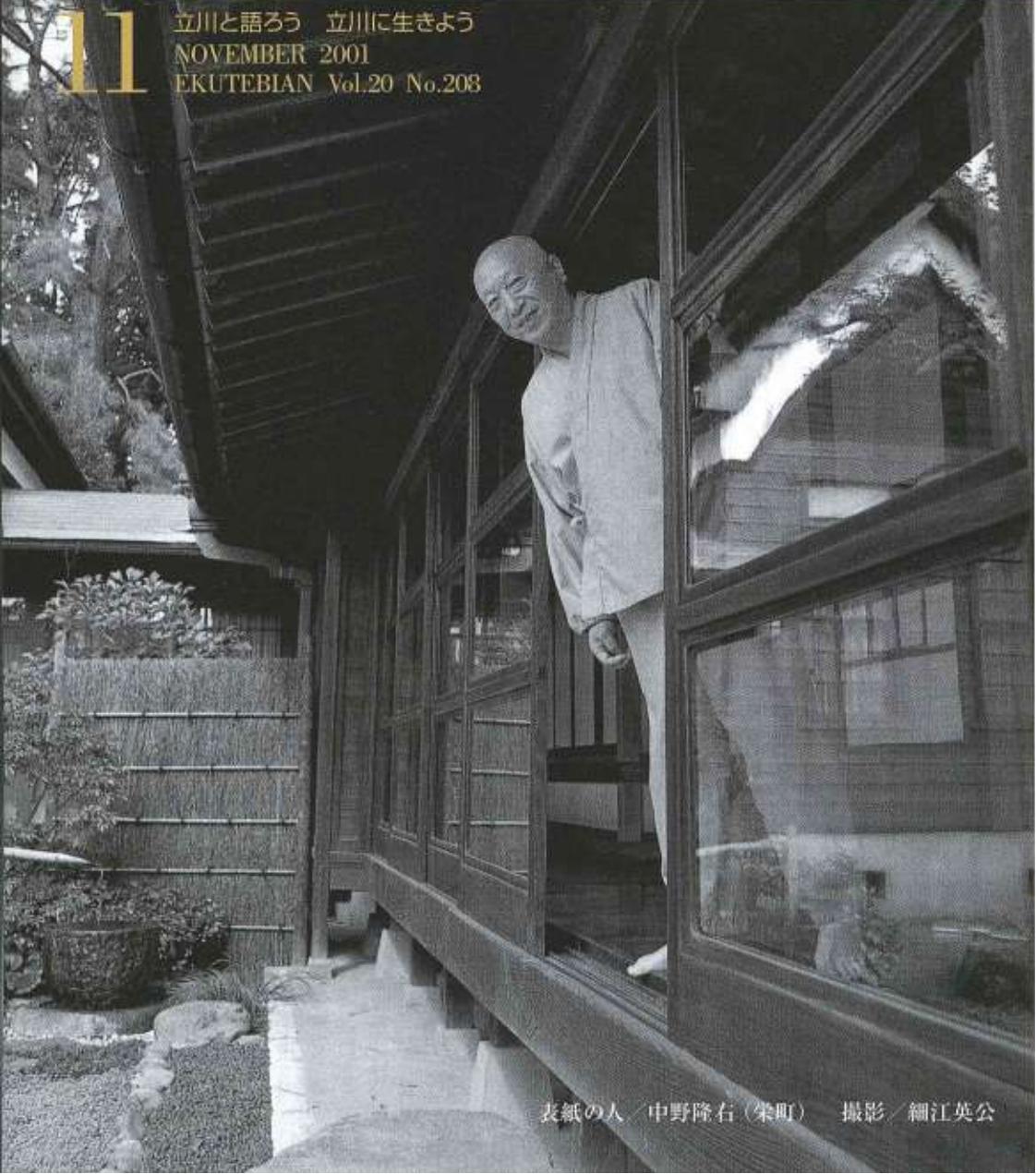
# えくとびあん

11

立川と語ろう 立川に生きよう

NOVEMBER 2001

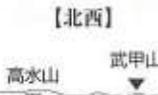
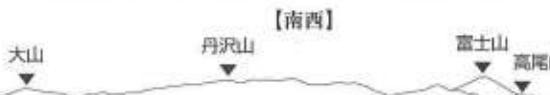
EKUTEBIAN Vol.20 No.208



表紙の人 中野隆右（栄町） 撮影／細江英公

# 三頭山 (1351m)

案内人 守屋龍男



[立川高島屋上から]

## 紅葉の中に落ちる大滝

**みとうさん**  
三頭山は、奥多摩三山（他に大岳山、御前山）の中でもっとも高く、ブナを中心とした鬱蒼たる森林や深く切れ込んだ谷を幾条も持つ深山幽谷の雰囲気のある山である。

平成2年に「都民の森」として森林館、野鳥観察小屋などの施設や10本以上にも及ぶ散策路が新設され、大勢の都民が訪れるようになった。特に、秘境の中に隠れた幻の滝であった「三頭ノ大滝」は木材チップを敷いた遊歩道や滝の正面に架けられた吊り橋が新設され、手軽に見ることが出来るようになった。山が俗化してしまい落胆している人もいるが、霧が漂うブナの深山を庶民が気楽に体験できるようになったことは評価できる。

三頭山というと、山頂が三つあるからだと思いがちであるが、小河内側からも檜原側からも三つの山頂は特定しにくい。強いていえば、西の峰（道標では中央峰）、三角点の峰、祠のある峰（三頭御前峰）の三つであるが、これは登ってみて初めて分かる程度である。それより御堂説が正しいようだ。昔、山頂直下に御堂があり、そこをみどう峠と言っていたので、それが次第に山名を表すようになったという。なお、立川から見ると大岳山の左方向に大沢山と対になった双子の山に見える。

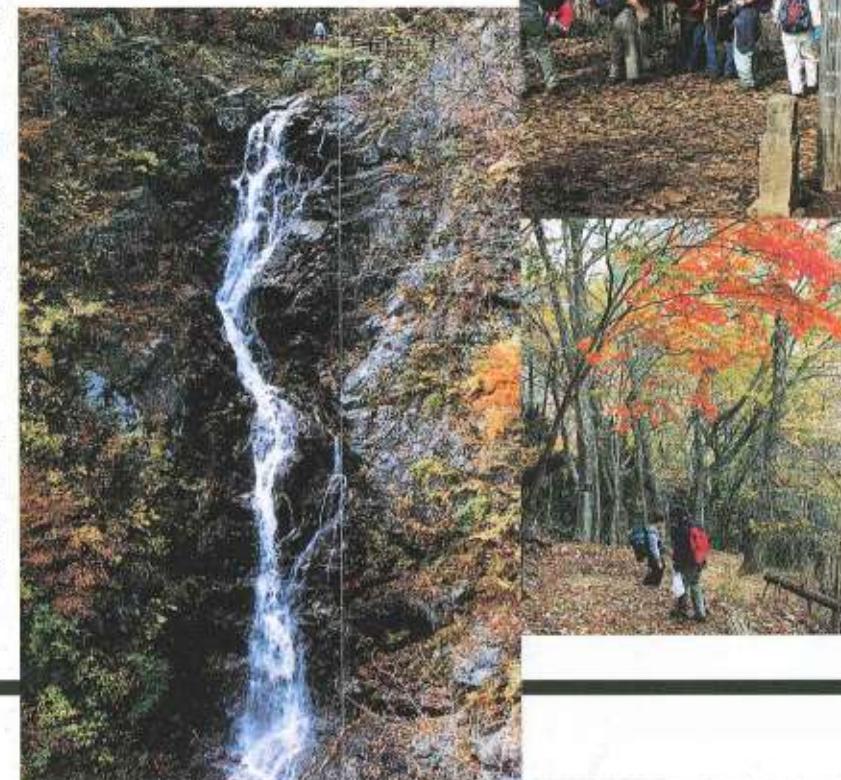
春から初夏にかけては目が覚めるような新緑が山を覆い、秋は錦織り成す紅葉が谷や尾根を包み、大自然の美しさを満喫させてくれる。とくに、秋のカエデやブナ、ミズナラ、カラマツの紅葉の間をぬって流れ落ちる三頭ノ大滝（落差30メートル）は一幅の絵を見るようだ。

### 行程

JR立川駅=五日市線30分=武蔵五日市駅=西東京バス1時間10分・都民の森西通=都民の森入口→30分→三頭ノ大滝→50分→ムシカリ峠→20分→三頭山（中央峰）→5分→御堂峠→40分→箱口峠→20分→森林館→10分→都民の森入口=往路を戻る。（歩程 約3時間）

[注] 西通バスは午前中2本、数席乗り換え便是1時間1本程度。いずれにしろ、出かける前に都民の森管理事務所（042-598-6008）、西東京バス五日市営業所（042-596-1611）に問い合わせた方がよい。

10月中旬から11月まで楽しめる紅葉のほか、春の若葉など四季を通じて自然が登山者を迎えてくれる。



### 私と三頭山

整備された山ですがブナ林をはじめ豊かな自然が残っています。悲恋民話にちなむオツネノ泣聲など歴史や民俗の奥行きも魅力。山のふるさと村から登る沢沿いの道は知る人ぞ知る花のコースです。

田畠伊織さん

（山のふるさとビジターセンター  
自然解説員・西砂町）





日本百名山はほんの通過点

# 今や「世界百名山」時代

山を愛する人たちに「日本百名山」というひとつの指標がある。かの深田久彌氏が選んだ百の名山で、多くの登山家がその全峰制覇をめざす。しかしここに、日本百名山はほんの通過地点に過ぎないとばかりに「世界の」百名山に挑んでいる人がいる。

有賀信夫さん(若葉町)。平成八年に立川七小の校長職を退いて以来、

その夢はいよいよ本格的なものとなつた。すでに四大陸二十数座の山を制覇し、昨年は自身の登山生活五十周年を

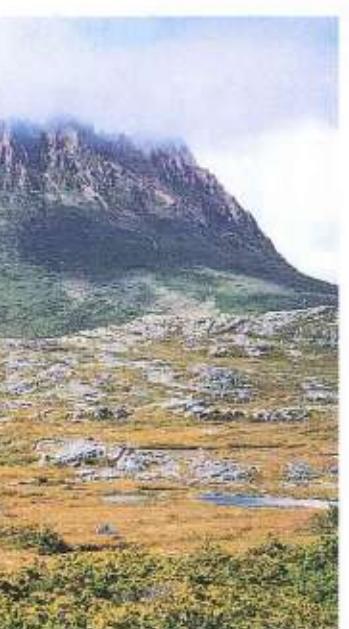
記念して、キリマンジャロ・ウフルピークの登頂に成功した。

有賀さんは同時に文芸の人で短歌誌『歩道』同人、歌人としての顔ももつ。今日も奥蓼科に有する山荘で、詩ごころに包まれ、未だ見ぬ山の姿に思いを馳せる。

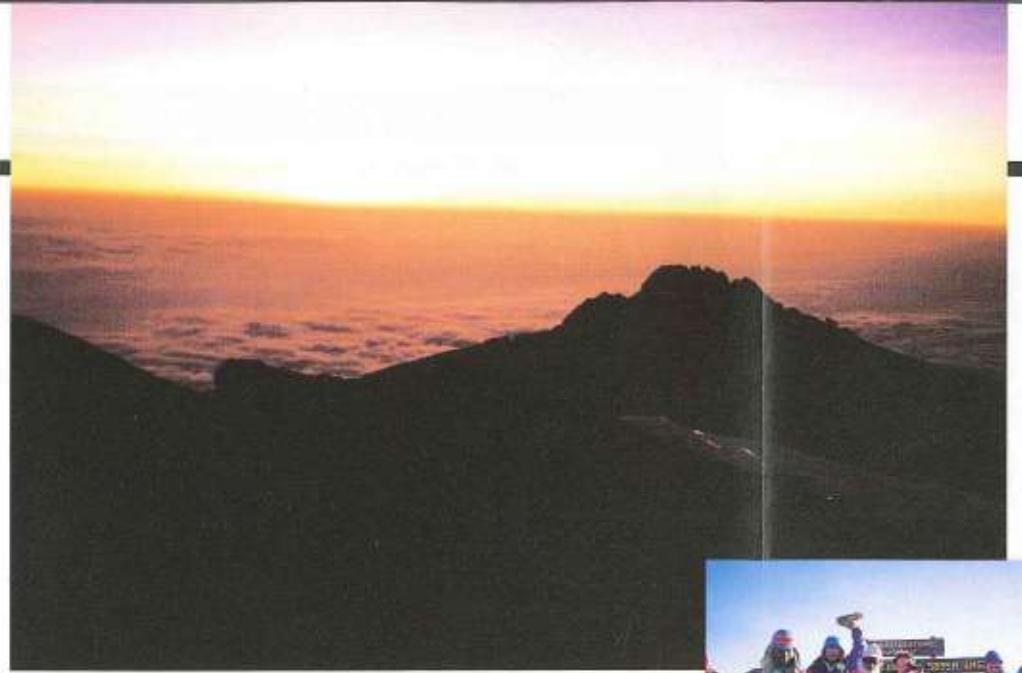
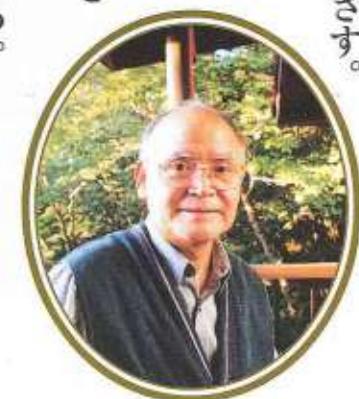
キリマンジャロ登頂にて一首詠めり

出でしより間なき朝日を浴びて立つ

アフリカ大陸最高地点 信夫



◆ クレードル山 (ニュージーランド) ◆



◆ シュトックホルン (スイス・アルプス山脈) ◆



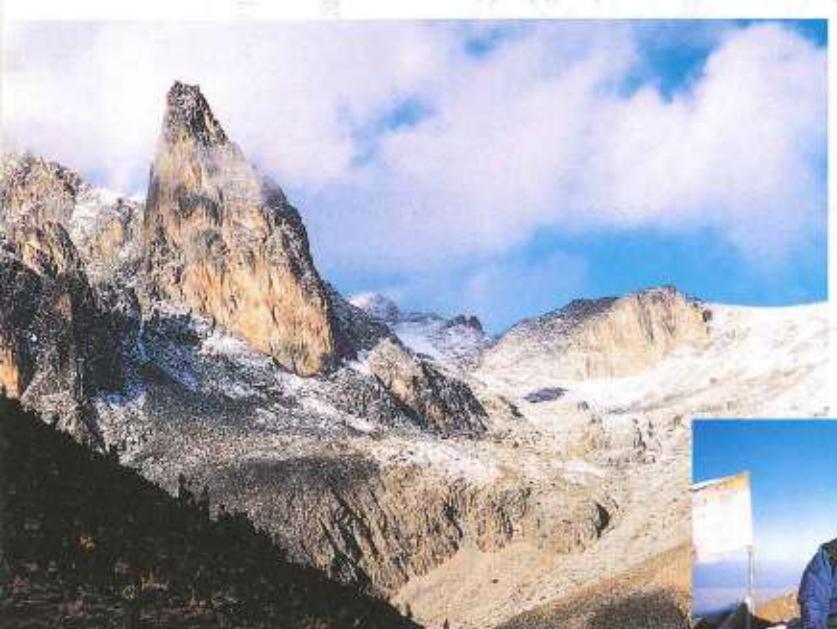
◆ キナバル山 (マレーシア) ◆

◆



◆ カナディアン・ロッキー縦走 (カナダ) ◆

◆



◆ ケニア山 (ケニア) ◆

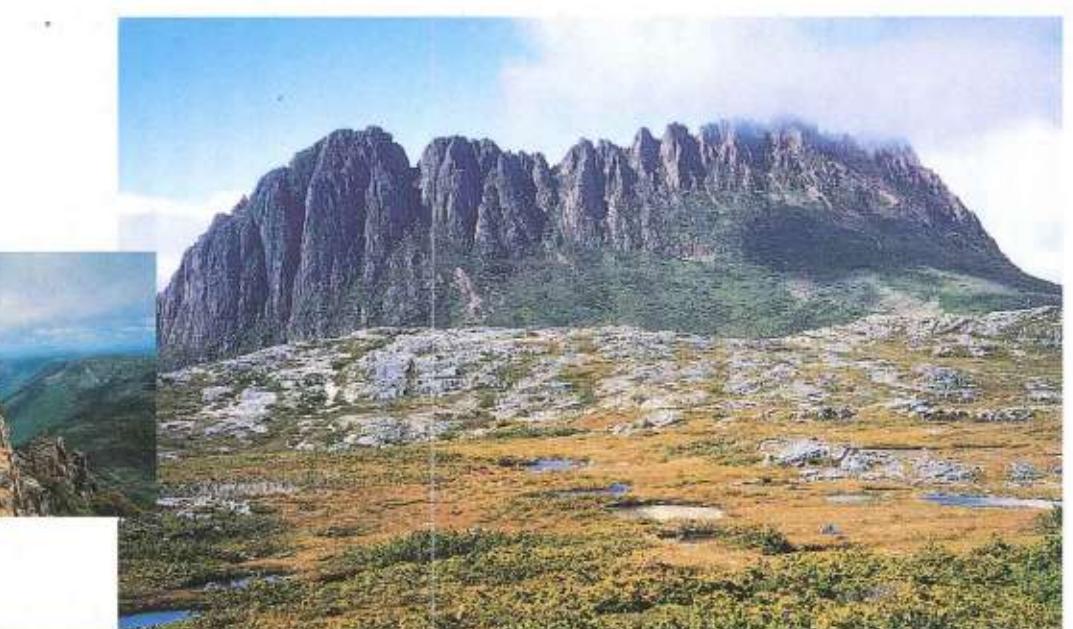
有賀信夫 (ありがのぶお)

昭和10年生まれ。

多摩地域を中心に教師として活躍。平成8年3月、立川市立第七小学校長を最後に定年退職。現在は心理カウンセラーとして主に子どもの教育相談に従事。高校入学時に山岳部に入部したことがきっかけで登山を始め、すでに教員時代に「日本百名山」を制覇。現在「世界百名山」登頂への夢を魅せる。また短歌誌『歩道』同人として作歌活動も行い、歌集に、山への思いを綴った「花の山後」(短歌新聞社)などがある。若葉町在住。



◆ チャカルタヤ山 (ボリビア・アンデス山脈) ◆



# Topics トピックス

表紙の人 中野隆右さん  
(栄町)

立川が誇る文化人。  
現在、立川レクリエーション協会  
会長。立川多文化共生センター理事  
長。立川市障害者後援会副会長など  
をつとめている。

前立川市郵便局長の要職として  
活躍される一方、立川市地域文化振興  
財団の事業協力委員として、立川の  
文化に総合的貢献をはたしてきた。

故人となられた中野藤吾氏を父に  
持つ、その文化的遺産は市に大きな  
影響を与えてきた。藤吾氏は都立立  
川短期大学学長、明星大学教授をつ  
とめられ、傍ら短歌に造詣が深い。

(於・中野邸／撮影・細江英公)

## 東風

秋もようやく深まってきた。空気が澄んでいるためか、遠くまで見通せる頃となり、蓼科高原では満天の星を満喫した。高原には「世界百名山」の有賀信夫さんの取材に伺ったのだが、大変に造詣の深い山談義と人生観にふれて感激の一泊であった。有賀さんは今日昨日の「俄か登山家」ではない。少年の頃からの鍛錬を今まで持続させて、教職を定年になるのが待ち遠しかったという。人生の心棒を山に絞れるからである。清々しい山談義に夜はふけて「ヒュッテ有賀」はますます澄んだ雰囲気の中に佇んでいた◆高橋尚子選手のマラソン女子記録、世界最高を出して日本中が沸いたが、その前日、わが工房では萱信一さんとの対談で予想をしていた。萱さんは絶対に高橋は優勝、世界最高をマークする。立井はそれに対して、いや、オリンピックで優勝し、統いて世界最高記録なんて滅多にあることじゃない、なにが起こるか判らないのがマラソンという競技、と反論。結果、立井の完敗◆第2回えくてびあんトーナーさんは池部良さん。大成功の内に終わった。詳細は来月号の「えくてびあんの眼」でお伝えしたいと準備をすめている。話を聞く愉しみを満喫した夕べであった◆運動会 少年の日の えくてびあん

【第三次えくてびあん同人】  
編集 大久保清志／小林康史／杉山清輔  
芳賀敏博／山田五郎  
デザイン 遠田隆男／AMNET DF  
写真 真仲伸／五味孝平

えくてびあん 11月号  
第20巻 通巻208号  
平成13年11月1日発行  
発行 えくてびあん編集工房  
〒190-0012 東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F  
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065

編集人 立井啓介  
発行人 濑尾勤三  
印刷 (株)大廣社

無断転載を禁します。

## 圧倒的な“異文化共演” 松本ゆき子「新筝曲の世界」



去る9月15日、立川市女性総合センター・アイムホールに於て、松本ゆき子さん(柴崎町)率いる「松拍会」の演奏会が催された。

松本さんは、不世出の筝曲家として知られる故・宮城道雄氏の直弟子にあたり、昭和16年に東京音楽学校(現芸大)を卒業。以来、演奏家・作曲家として多方面で活動を展開し高い評価を得ている。また後進の育成にも積極的で、門下生の指導と同時に多くの学校等で講師を務め、その普及にも勤しんでいる。

当日は松拍会門下生の演奏に加え、松本さんが指導にあたっている藤村女子高等楽曲部の生徒も出演。誰もが知る有名曲から松本さん自身の手によるオリジナル曲まで、幅広い選曲と多彩な構成で聴衆を魅了した。特にゲスト出演の二胡奏者・程農化(チエン・ノンファ)さんと松本さん母娘との“異文化共演”は圧倒的な迫力で、その独特な音世界は満員の聴衆から喝采を浴びていた。

## 秋なればこそ! 多摩川で草花あそび

「先生、これなあに?」「それはね…」。澄みきった風がそよ吹く秋晴れの一日、立川市立第一小学校2年生の児童56名は体験学習のため多摩川の河原にやってきた。この指導に当たったのが、本誌の連載「たちかわ名木伝」で案内人をつとめてくださった鈴木功さん(富士見町)。鈴木さんは年に数回、こうした活動を行っている。

河原に着くと子どもたちの目がキラキラと輝き出した。まずは鈴木さんが見本を創る。めいめい河原に這った葛の蔓を巻き、形も大小さまざまな独創的なリースを作り上げた。中には生えている花を摘み、リースに飾り付ける子もいる。さあ、蔓の王冠を被って河原を行進だ。スキの穂を集め造る箒。草飛ばしの軌跡を一心に追う。あちらでは夢中になってバッタを捕まえている。みんな笑顔だ。「教室では大人しい子も野原に出ると意外な一面をみせてくれる」とは引率の先生の談。



## クラウン Bakery Cafe Crown 真味百撰



●舗町2-4-2 ●526-2226  
●平日/8:00~19:30 土・祝日/9:00~19:00  
●日曜日定休  
●カウンター5席、テーブル36席 ●Pなし

常に発展を目指すサービス  
その秘密はお客様の声にあり



立川南通りに美味しいと評判のパン屋さんがある。道路沿いの壁一面がガラスという解放感ある明るいお店だ。ずらりと並べられたパンの種類は70種以上と豊富。店内にはクラシック音楽が流れる居心地の良いイート・インのコーナーがあり、買ったパンをその場で頂けるのが嬉しい。このコーナー、昼時には連日満席になるほどの人気ぶりだ。傍らには、買ったパンを温めなおすオーブンがさり気なく置かれている。

何より目をひく試みが、各テーブルに置かれた「ご意見ノート」の数々。お客様からのお店に対する意見、要望、感想などが気軽に記入できるようになっている。ここにお客のニーズを的確に捉えようという店側の配慮がみえる。現に要望の多かった禁煙コーナーが拡大されるなどの改善が図られた。中には店員の接客態度について辛口の意見も飛び出しているが、そのひとつひとつに回答がなされている。お客様としても自分の提案がすぐに形となって現れるのは快いことだろう。

このお店の持つ親しみやすい雰囲気は、お客様ひとりが造っているといっても過言ではない。

## ごろさんの独断毒語

28

# 怨親平等

随分と以前に、ある仏教者から「怨親平等」という言葉を聞いたことがあります。怨念をもつことなく、そして親しい人とも平等に考えて平和な世界、穏やかな人生を歩むことだと、平たく云えば、そういうことだと解釈しております。ですが、それは私たち庶民には遠い理想郷で、毎日の出来事はこの反対のことばかり。自分の中のまわりを見回しても、小とは云え争いの連続、いやどちらから争いを仕掛けているような日常ではないでしょうか。

それに「怨親平等」なんて、仏教の専門用語で、修行を積んで悟りを開いた人たちが辿り着く独特的の境地で、私たち庶民にとっては絵に描いた餅ではないかと、漠然と考えております。

ところが、突然起つたあの、世界を震撼させたニューヨークでの同時多発テロ事件です。

あの夜、私は仕事が遅くなり十時頃に帰宅したのですが、家人が、「あなた、アメリカで大変な事件が起つたよ。」

と云うので、真夜中までTVを見続けているうちに段々、これはアメリカだけの問題ではなく、「人類」の大テーマだということを薄々感じはじめたのです。第二次世界大戦後、私たちは

「民主主義」のもとで生きてきました。民主主義は正しい、民主主義こそ理想である。日常的にも、それは民主的ではない、なんことをよく口にします。ですが、今度の事件で、民主主義は一つの「主義」であつて、「原理主義」という言葉を聞いたことでしょう。歴史は報復の積み重ねで、いつにでも再び繰り返すことがあります。正義は頑強です。正義と正義がぶつかりれば、そこに事変が起り、戦争に発展してしまいます。今度のテロ事件で、幾度「報復」という言葉を聞いたことでしょう。歴史は報復の積み重ねでした。



イラスト：綾 幸子

私はふと、以前に聞いた「怨親平等」ということを憶い出したのです。そして、広辞苑をひく口にしました。歴とした日本語なんですね。そこにはこう記載されておりました。怨親平等=敵・味方の差別なく、絶対平等の慈悲の心で接すること。あ、日本には美しい言葉があるんだ。言葉があるということは、その背景に思想があるということです。「慈悲」、これも美しい言葉です。こういう美しい日本のことは、血の中に流れている自然態の思想、こういうものが、今までの事件のような場合に、われら凡人はすぐどこかに置き去りにしてしまう。

科学のような分野では、先人が開発した上に立つてさらに前進できます。いまや宇宙旅行も夢ではありません。が、人間はこの世に生を授かつたときには無垢で、一から出発してゆかなければなりません。先人の体験が本統に活きるということは至難の業であることをしらされます。いま、私は「怨親平等」と「慈悲」という箇所に赤鉛筆で傍線を引いたところです。

(やまだごらう・詩人)

立川と多摩地域が  
もっと楽しいホームページ

多摩てばこネット

http://www.tamatebako-net.ne.jp/  
多摩てばこネット編集工房  
〒190-0012 立川市曙町3-4-3 武蔵ビル2F  
tel 042-548-9606 fax 042-548-9609  
e-mail message@tamatebako-net.ne.jp

## 常樂我淨

真如苑提供番組 <じょうらくがじゅう>

スカイパークTV 216ch、マイ・テレビ 84ch

土曜 午前9時~9時15分

午後7時15分~7時30分

再放送/火曜 午前9時~9時15分

午後7時45分~8時

放送時間は予告なく変更する場合がございます。

立川に育てられて六十五年

真如苑

鎌倉町1-2-13 Tel.527-0111㈹

## ふれあい、さわやか



山梨中央銀行

\*立川支店 \*  
〒190-0011 立川市高松町2-16-13  
TEL 042-526-1571

## デジタルえほん メモリーブックにどうぞ…



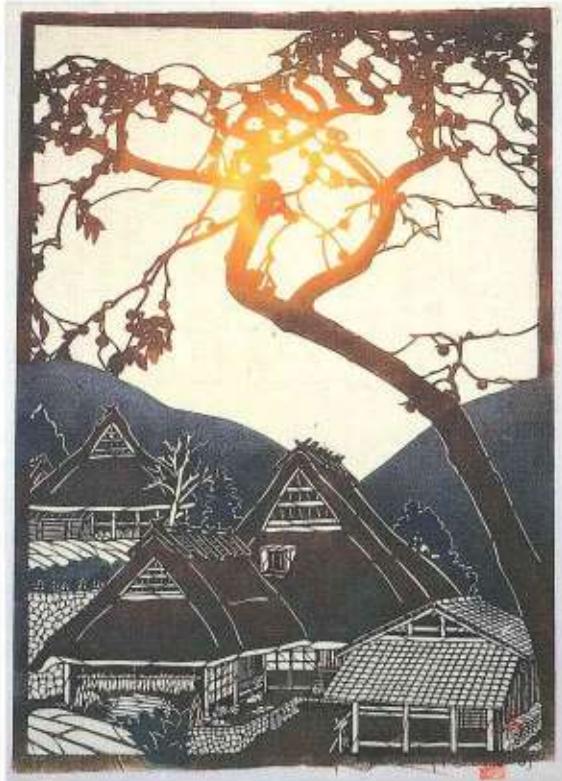
ミッキーや  
キティちゃんと一緒に…!!  
あなたの  
写真と名前が  
絵本の中に  
入ります。



PLANNING・DESIGN・PROCESS・PRINTING  
株式会社 大廣社 042-527-1911  
〒190-0022 東京都立川市曙町5-17-13  
FAX 042-527-1949  
E-mail: J0106215@nifty.ne.jp

# いつも、旅

型染版画家・田中清の世界④



『柿の木と民家』

「柿の木と民家」は丹波で得た作品です。そこで私は「風土」の重みを感じております。合理化への反発、感傷的かも知れませんが、近代化を強いられる社会の矛盾を感じいたのでしょう。この柿の木に私は無限の故郷を思うのです。そう云えば、来年もよく実が成るようになつだけ残しておく「木守柿」という風雅な言葉を思い出しました。



多摩の新景より  
「清瀬けやき並木」  
(清瀬市)